



GOVERNOR'S No.12 2018.6.12 MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

国際ロータリー第2640地区 2017-2018 ガバナー 岡本 浩

ロータリー： 変化をもたらす



目次

1. ガバナー任期を終えるに際しての御挨拶
3. ガバナー報告
5. クラブ活動報告(1) 海南東ロータリークラブ
6. クラブ活動報告(2) 和歌山城南ロータリークラブ
7. クラブ活動報告(3) 和泉ロータリークラブ
8. クラブ活動報告(4) 和歌山中ロータリークラブ
9. 第36回RYLA研修セミナー開催報告
11. RLI2640地区今年度開催の経緯
12. 各ガバナー補佐、この1年をふり返って
13. 今月の行事予定・5月のガバナー行動日誌・
ガバナー参加以外の5月開催地区行事・新入会員紹介
14. 会員数・出席報告

ガバナー任期を終えるに際しての御挨拶

国際ロータリー第2640地区

2017-2018年度 ガバナー 岡本 浩



1、はじめに

2017年7月をもってスタートした私のガバナー年度も、本稿を執筆している時点で、残すところ1ヶ月を切るところまでになりました。地区内の全ロータリアンにお届けできる私からの発信の機会としては、今号の月信によるものが最終となります。そこで、年度終了まで、なおいくつかの行事と日数を残す段階ではありますが、年度を終了するに際しての御挨拶を述べさせていただきます。

2、今期の諸課題実践について

今年度は、RI会長テーマ「変化をもたらす」の下に、地区指針として「ロータリーの原点を再確認し、2640地区の新たな飛躍を」を掲げ、スタートしました。私としては、上記の地区指針を具体的に実行することを目指し、

- ・地区大会までを、その意義の訴えと浸透の時期
- ・地区大会後より年度末までを具体的実践の時期

との大きな想定の下に、各種の地区運営に当たってきました。

前半期は、地区内69のクラブを個別に公式訪問させていただき、私の理解するロータリーの原点を訴えと共に、地区組織の有り方を示した図（＝本号の裏表紙に再掲載の図）を基に、地区内諸機関の本来の有り方・機能等を訴えさせていただきました。この公式訪問では、各クラブの皆様にご多大の歓迎をいただくと同時に、多様なクラブの有りように多くのことを気づき、学ばせていただきました。

後半期は、前半期で訴えさせていただいた、ロータリーとしての地区組織の有り方・クラブ強化等を目指し

① 地区内8分区における分区の再建と活動の充実

- ② 新しい会員にロータリーの理解を深めていただくべく、新会員研修を実施
 - ③ 地区とクラブの将来の指導者を育成するため、RLI（＝ロータリーリーダーシップ研修）を再開
 - ④ 青少年奉仕関係・米山委員会といった、ロータリアン以外の人々をも加えた活動を、できるだけ地区の全クラブが担うものにする
- を重点の柱として、それぞれに沿う活動を推進させていただきました。

結果として、今期中に8分区中6つの分区で分区としての行事の再開をすることができ、残る2つの分区も次期に何らかの取組みができる素地を作ることができました。また、全ての分区の行事又は集まりにガバナーとして参加させていただくことができ、各分区の実情を知ると共に懇親を深めさせていただくことができました。また、3回に及んだ新会員研修会・3日間（－練習・準備の2日間を入れれば5日間－）のRLIを、それぞれ開催させていただき、共に有意義な成果を得ることができました。

なお、月信の発行については、私の時々の方針や提起・この間の地区の行事や各クラブの活動の紹介につき、地区全会員に届くよう、紙媒体にて配信することを、重点方針として実行させていただきました。私の発行月信においては、文字通り、

「ガバナーより各ロータリアンに対する毎月の手紙」を貫く紙面にすることを強く意識し、米山やロータリー文庫より全国的な共通ニュースとして配信されてくるような記事で紙面を埋めるのではなく、2640地区の生の行事・ニュースや所属クラブの活動が新鮮に伝わるような紙面作りをと心がけました。

就任前の想定以上に多忙であったガバナー職務を

こなしながら毎月の月信をガバナー自らの手作りで作成し発信することは、なかなかに厳しいものでしたが、この配信により紙媒体による月信の有意義性を実感いただける紙面として配布できたのではないかと自負しています。

3、地区正常化達成をより強固に

当地区は、2010年以來の長期の混乱を経てきましたが、辻秀和ガバナー・福井隆一郎ガバナーの御努力により、地区は混乱を基本的に脱し、私は正常化に大きく前進した状況を受け継ぐこととなりました。私としては、正常化に大きく前進した地区の姿を、より強固なものとし、混乱のために失われていた地区の様々な機能を回復させると共に、再び混乱を招くことのない基盤固めに全力を尽くさせていただきました。

この点では、任期の終了に近くなった5月に、地区立法案検討会を開催させていただき、提案された動議議案を圧倒的多数のクラブ・選挙人の支持により可決できたことにより、地区正常化の最終締めというべきものを形成するに至り得ました。地区立法案検討会への参加クラブ・選挙人の皆様に感謝をしています。

地区正常化のこの成果は、次期以降にも引き継がれ、当地区が再び従前のような事態を招くことのないよう、これまでの努力と成果を継承・発展させていっていただきたいと願っています。

4、終わりに

本年6月末日をもって、私は当地区ガバナーの任を終了させていただくこととなります。私個人としては、2013年5月の地区協議会の席上、地区正常化の進め方につき発言したことを大きな契機として地区の問題に関わるようになった経緯からすると、まるまる5年余りを国際ロータリー第2640地区との関わりを自分の日常の大きな中心として過ごしてきたかの感があります。

この間、多くの地区内ロータリアンの皆様と知り合い、それらの人々に支えられて、ガバナーとして国際ロータリー第2640地区の業務を遂行できたことに対し、深く感謝申し上げるものです。さらに、14もの他地区地区大会に参加しガバナー会や任意のガバナー交流会にも参加し、全国34地区の同期ガバナーの皆様と親しく交流させていただく機会を持てたことは、大変に幸せなことでした。また、自分的には、健康を損ねることなく、この間の任を無事に遂行できたことを喜びとするものです。

今後は、所属する和歌山城南ロータリークラブの一人のロータリアンとして、ロータリー生活を楽しみつつ、2640地区の更なる発展を見守っていく所存です。

国際ロータリー第2640地区所属の各クラブ並びにロータリアンの皆さん、一年間の地区運営への御協力、ありがとうございました。

(追記)

1. 地区とクラブ・地区役員・委員会との各相互の関係及び月信の果たす役割については、公式訪問の際に使用させていただいた図(=本号の裏表紙に再掲載)の理解・実践が不可欠と考えます。この図は、地区ホームページに掲載しますので、今後も必要に応じ御活用ください。
2. ガバナー月信の表紙に、自分が育てた草花や花木の写真を掲載するわがままをお許しいただいたこと、感謝申し上げます。

ガバナー報告

国際ロータリー第2640地区

2017-2018年度 ガバナー 岡本 浩



1、地区立法案検討会及び第3回会長会議開催の御報告

2018年5月19日午後2時から、和歌山市内のルミエール華月殿にて、地区立法案検討会、終了後に第3回会長会議が開催されました。

(1) 地区立法案検討会の件

地区立法案検討会は、69クラブ中66クラブより選挙人の届出をいただき、当日は63クラブより81名の選挙人が出席し開催させていただきました。地区の注選挙人総数は90名であり、出席選挙人は、81名でした。議決内容は、下記の通りです。

注：選挙人とは、各クラブより選出され届け出られた、立法案検討会における議員の立場を努める人のことです。選挙人の数は、クラブの人数により異なり、当地区内では1クラブに1名が大多数であり、3名が最多となっています。

記

- ① 2018年規定審議会への決議議案提出の件
有田RCより提案された提出決議案につき、提出することを可決しました。
- ② 地区資金中の回収不能の債権630万円の処理に関する件
地区資金中に含まれる回収不能の債権630万円（豊澤氏に対する返還請求債権他）につき、今期中に償却処理することを可決しました。

③ 動議提出議案に関する件

【動議提出議案の2】

国際ロータリー第2640地区は、ワールド大阪REC所属の久保治雄氏に対し、当地区において、本決議以降、パストガバナーとして処遇しないことを決議する。

賛成：75 反対：1 保留：2

【動議提出議案の1】

国際ロータリー第2640地区は、堺フェニックスRC会員の米田真理子氏に対し、当地区においては、本決議以降、パストガバナーとして処遇しないことを決議する。

賛成：78 反対：0 保留：1

(付記)

・出席選挙人81名と上記各議決の議決数とが合致し

ないのは、各議決時における在席選挙人数に変動があったためです。出席選挙人81名は、在席最高人数を示しています。

・「当地区において、パストガバナーとして処遇しない」との趣旨は、当地区内においてはパストガバナーとして取り扱わないということであり、具体的には「国際ロータリー第2640地区の会合等の出席に際しパストガバナーとして紹介されない・地区組織図中にパストガバナーとして表示されない・パストガバナーによって構成される諮問委員会等への参加を認めないということである」との動議議案提案者よりの説明がなされ、議決はこれを踏まえてなされています。

この次第より、久保治雄・米田真理子の両氏については、先ず当地区の地区組織図より、パストガバナーであることをもって就任している役職の全てにつき、本年5月中に削除の処理を実施しています。



地区立法案検討会の様子

(2) 第3回会長会議の件

地区立法案検討会で白熱した討論が行われたこともあり、会長会議の開催が予定時間より大幅に遅くなってしまい、短時間の会議となりましたが、同会場にて第3回会長会議が開催されました。

ガバナーの私より今期の概括的総括報告をさせていただき、続いて各ガバナー補佐による分区の活動報告がなされました。さらに、いくつかのクラブより、クラブの活動状況等の報告がなされ、今期における最後の会長会議が終了しました。

なお、終了後、地区役員・クラブ会長による任

意参加の懇親会が開催され、今期の活動をふり返る和やかな懇談が行われました。



第3回会長会議の会場風景

2、ガバナーノミニージェグネート確定の件

2020-2021年度ガバナー予定者の選出については、当地区は昨秋の地区大会選挙人会議の議決により、郵便投票の方法によることが決定されていました。そこで、2018年4月2日、2020-2021年度ガバナー候補者推薦書提出を、2018年5月7日を期限として、各クラブにお願いしました。

上記依頼に対し、所定の期限までに届け出られた候補者は1名であったため、当該候補者につき、2018年5月8日付文書をもって確定宣言をさせていただきました。

以上により、当地区の2020-2021年度ガバナー予定者（今期年度においては、その役職はガバナーノミニージェグネートとなります）は、岸和田東ロータリークラブ所属の藤井秀香氏と確定しました。以下に藤井秀香ガバナーノミニージェグネートの御紹介をさせていただきます。

ガバナー就任年度：2020-2021年度



◇氏名：藤井 秀香
(ふじい ひでか)

◇所属クラブ：岸和田東ロータリークラブ

◇生年月日：1956年
(昭和31年) 4月23日

◇職業分類：医療法人経営

◇ロータリー歴：
1996年2月 岸和田東ロータリークラブ入会

- * 岸和田東ロータリークラブにて
 - ・SAA・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー財団・米山奨学 各委員長を歴任
 - ・2013-2014年度クラブ会長
- * 第2640地区にて
 - ・2017-2018年度ガバナー補佐

3、この間の開催主要行事の報告

(1) R L I (ロータリーリーダーシップ研修会)

長く開催されていなかったR L Iの再開を行うことができ、4月29日・5月20日・6月3日の3日間にわたり、午前9時30分から午後4時30分までという濃密なる研修会を実施することができました。詳細は11頁のR L I実行委員長・横山素夫氏作成別稿に委ねますが、地区とクラブの指導者を育成していくという意味で、また次期以降のR L Iの基礎を作るという意味で、大きな成果をあげるものとなりました。



研修会の会場風景

(2) ライラ研修

4月28日から4月30日までの3日間、当地区のライラ研修が開催されました。詳細は、9頁のライラ委員会委員長橋本竜也氏作成別稿に委ねますが、3日間共に天候に恵まれ、次代を担う青年達に有意義な研修の機会を提供することができました。



ライラ研修会全体風景

4、RI国際大会について

6月24日から6月27日の間、カナダのトロントにてR I国際大会が開催されます。文字通り今期の最終行事であり、かつ次期R I会長年度の出発行事でもあります。日本からすると遠方地での開催ですが、当地区からも多数の参加御登録をいただいております。

なお、6月24日の夜に現地で開催される当地区のジャパンナイトには、44名もの参加登録をいただいております。参加者の懇親を深めると共に、檜畑ガバナーエレクトに対し次期年度を迎える激励をさせていただく行事にしたいと予定しています。

クラブ活動報告(1)

海南東ロータリークラブ活動紹介

寺 下 卓

(海南東ロータリークラブ)



事業の名称

「フィリピン・セブ島での水、マングローブ植樹等の支援
3クラブ（フィリピン、日本、台湾）の共同プロジェクト」

- (1) 海南東RC(D-2640日本)とマンダウエ イーストRC(D-3860フィリピン)、彰化東南RC(D-3460台湾)は、フィリピン・セブ島で「水支援」「マングローブ植樹」等の支援を行いました。

上記3クラブは、2003年から毎年、奉仕プロジェクトに取り組んできました。

私達は、2018年3月8日から12日まで、フィリピン・セブ島を会員、家族を含め計10名で訪問しました。

- (2) 視察は、まず、昨年の水支援プロジェクトの検証です。水不足に困っている離島を訪問しました。最初の視察先、イナバング島へ向かいました。島には島民5,000人が暮らしていますが、島の生活は貧しく、漁業が中心で、周辺の本島からの支援で成り立っています。特に水支援は急務で、雨水と小さな井戸(塩分がある)に頼っているのが現状です。

次に訪問した島は、ギルトンガ島です。一昨年、訪問した島で、昨年支援で、雨水の貯水タンクの設置や各家庭へ配布するポリタンクを寄贈した島です。上陸後、完成した貯水タンク、ポリタンクの寄贈、トイレ建設などを視察しました。

フィリピンには、約7,000以上の島があり、このような小さな離島は同じような環境です。さらに多くの島で支援が求められています。

- (3) セブ市内へ帰ってからは、3クラブの合同例会です。多いに歓迎を受けました。各会長のスピーチ、支援金の贈呈式のほか、交流を深めました。

翌日の3月10日は、セブ島の北東部に位置するアルカンタラ町を訪問。セブ市からバスで、片道約100Km(3時間半)の道のりでした。本年度の支援によるマングローブ植樹プロジェクトを視察しました。このプロジェクトは、2008-09年に当地区も支援した「100万本のマングローブ植林プロジェクト」の経緯もあり、今回、海南西RC、堺青陵RCからも支援金を預かりました。マング

ローブの苗木は1本、約50円。この地域では植樹のための苗木の生産を行っており、今回の支援で、約6,000本の苗木の購入とそれに係る費用が捻出することが出来ます。また、帰路、水害等で家を無くした住民達に地元ロータリーが支援した「ロータリー住宅」も見学しました。道には“ポールハリス通り”“ロータリーインターナショナル通り”などの名前がつけられていました。

- (4) 私達は、フィリピン・セブ島での支援に15年前から関わっています。アジアの中でも経済成長が遅れた感があり、生活の格差、特に貧困層が多く、困っている人達が沢山います。これまで、水、医療、衛生、教育、就業などの支援を、地元ロータリーからのリクエストや現地での協議によって進めてきました。今回の視察でも感じたことは、現地パートナーのマンダウエ・イーストRCは、少ないメンバー数の中で、RC(ロータリ地域社会共同体)や近隣クラブと協力し、地道に支援活動に取り組んでいます。全体から見ると小規模なプロジェクトかも知れませんが、着実に地域に貢献し、根付いています。そして、今回も出合ったフィリピンの子供たちの笑顔を絶やさず、たくましく生きている姿が印象的でした。ロータリーが支援するフィリピンでの奉仕活動の必要性を改めて再確認しました。そして、今後も支援が続けられるよう努力したいと思います。



クラブ活動報告(2)

和歌山城南ロータリークラブ活動紹介

社会奉仕活動委員会委員長 柏原 康文
(和歌山城南ロータリークラブ)



事業の名称

「和歌山市子ども暗唱大会」

当クラブでは、社会奉仕活動の一環として、和歌山市の小・中学生を対象に、毎年「和歌山市子ども暗唱大会」を開催しています。本年度も平成29年12月9日に和歌山ビッグ愛の大ホールで開催し、今回で12回目となりました。

この暗唱大会は、「読む」「話す」「聞く」等のすべての知的活動の基盤をなす国語の力を涵養するとともに、文章の暗唱を通じ言葉と自らの音声によって意思や感情を伝え合うコミュニケーション機能の育成を図る貴重な場となっています。

大会は、小学生と中学生に分けて行い、更にそれぞれ数人のグループによる群読の部（=複数の子ども達による暗唱）と個人の部に分けて、暗唱発表を行います。

第12回大会では、小学生の部で群読9チーム・個人10人、中学生の部で群読7チーム、個人10人の参加がございました。

暗唱発表される生徒の方々は、ここに至るまで、指導される先生のもと、発表内容の選定、発表文の暗記と表現方法の工夫、そして発表の繰り返しの練習と大変な努力を重ねられています。大人でさえ人前で挨拶する時は緊張するものですが、幼い子どもにとってその緊張度合いは如何ばかりかと思われま



小学生の部・群読の様子

それでも発表される生徒さんは、活舌もはっきりしていて声も大きく、堂々としています。ここに至るまでに、生徒さんの努力はもちろん、指導される先生方の並々ならぬ情熱が感じられます。

当日は、発表を控え緊張する生徒さんに加え、指導に当たられた先生方や多くの父兄の方々が会場は熱気にあふれています。なお、会場へお越しになる父兄の方々は年々増加してきています。

来場された皆様は、子どもたちの素晴らしい発表を目の当たりにして、とても感動していらっしゃる

ます。この大会へ初参加した当クラブのメンバーも大変感銘を受け、このイベントに参加できたことを誇りに思うと話しています。

なお、当クラブでは、この暗唱大会は年間行事の中で最も大きなイベントであり、ほぼ全員が参加して取り組んでいます。クラブ例会でもメンバーの交流は深まりますが、暗唱大会を一丸となって開催することにより、その絆はより深まります。その点からも、この暗唱大会の開催の意義は大きいものであるといえます。

また、この大会は、和歌山市の教育委員会の全面的な協力を得ています。

当日の開催作業のバックアップはもちろんのこと、開催にいたるまでの大会案内から応募の手配など手厚く支援していただいています。このご協力がなければ暗唱大会の12回もの開催は不可能でした。



暗唱発表を聞いている会場の雰囲気

今年度、当クラブでは、創立30周年記念例会（H30.3.31）を開催しました。

その中で、暗唱大会で最優秀賞を受賞された貴志中学の群読6名の生徒さんから「パヤタスに降る星～ごみの山のこどもたちから届きたいのちの贈り物～」を発表いただきました。貴志中学校では、暗唱活動への大変熱心な取り組みが行われており、今回の記念例会のために、更に練習を重ねられたとのことでした。

記念例会に参加されたロータリアンからも熱い拍手がおくられ、多くの皆様が感動されておられました。

この意義ある大会を今後とも可能な限り継続していけるよう尽力してまいりたいと思います。



30周年記念例会での貴志中学生徒の発表風景

クラブ活動報告(3)

和泉ロータリークラブ活動紹介

会長 谷 宗 光

(和泉ロータリークラブ)



事業の名称

「姉妹クラブ訪問・R I 3481 地区大会参加」

当クラブは、1970年クラブ創立10周年を迎えた年に、R I 3481地区台北西RCと第1回調印式を執り行い、姉妹クラブとなりました。

2015年には台北西RC創立60周年記念式典にて第15回調印式を行うなど友好を深めて参りました。

2017—2018年度、台北西RC 洪振攀氏がR I 3481地区ガバナーに就任されました。このため、年度初めよりR I 3481地区の地区大会へご招待を戴いており、2018年4月13日から15日の2泊3日にて姉妹クラブである台北西RCを14名にて訪問。4月14日(土)、R I 3481地区大会に参加致しました。R I 3481地区は、本年度、日本のR I 2750地区(東京)と姉妹地区提携をされました。

当クラブは、この姉妹クラブ関係の継続・発展の中で、国際交流と親善を、今まで以上に強化していきたいと考えています。



クラブ活動報告(4)

和歌山中ロータリークラブ活動紹介

会長 井畑 健 司
(和歌山中ロータリークラブ)



事業の名称

和歌山市内9ロータリークラブ合同奉仕プロジェクト
「ランガム PEA-2A デイケアセンター
保育園建設」

和歌山市内9ロータリークラブ 『2016-17年度
インターシティミーティング』の合同プロジェクト
として取り組みました「フィリピンでのデイケアセ
ンター保育園建設プロジェクト」が、完成の運びと
なりました。R I 2640地区ガバナー 岡本 浩様は
じめ、市内9ロータリークラブ会員の皆様には、イ
ンターシティミーティングを通じて多大のご支援と
ご協力を賜り、有難うございました。改めて御礼申
上げます。

下記の通り、ご報告申し上げます。

記

I. 経緯：

(1) 2017年2月11日(土)和歌山ビッグ愛にお
いて、

「和歌山市内9ロータリークラブ インターシ
ティミーティング」を 開催。

(2) 「私たちは、若い世代のために何をするべ
きか」のI.M.テーマの下、各クラブのご賛同と
費用の追加ご支援を頂き、9ロータリークラブ
合同プロジェクトとして、「フィリピンでのデ
イケアセンター・保育園建設プロジェクト」に
取り組む。



II. デイケアセンター完成のご報告：

名称：「ランガム (Langgam) PEA-2A
デイケアセンター」

住所：フィリピン共和国

ラグーナ州 サンパドロ市 ランガム地区
PEA-2A

(1) 概要：

- ① 敷地面積： 約 155㎡
- ② 建設費用： 総額 ￥3,680,000
(1,673,277ペソ)
内9クラブ支援金
￥1,725,000
(\$15,000)

- ③ 活動内容：本年6月の新学期から、約80
~90名の義務教育前幼児(3
~4歳)を対象に、「昼食給
食サービス」「英語教育」等
を地域社会に提供。

ZZ 20mm dia Metal clamp	2 sets	50.00 /set	100.00
		Material Cost P =	64,698.00
		Labor Cost =	22,644.30
		Total Cost =	87,342.30
K. SEPTIC TANK			
1 CIB 5"	150 pcs	19.00 /pc	2,850.00
2 Portland Cement	15 bags	280.00 /bag	4,200.00
3 W. Sand	1 cu.m.	950.00 /cu.m	950.00
4 10mm dia bar	13 pcs	175.00 /pc	2,275.00
5 Gravel 3/4"	1 cu.m.	1,150.00 /cu.m	1,150.00
6 4"x4" Tee Wye	3 pcs	100.00 /pc	300.00
		Material Cost P =	11,725.00
		Labor Cost =	4,103.75
		Total Cost =	15,828.75
SUMMARY			
I. GENERAL REQUIREMENT			10,000.00
II. EXCAVATION			5,700.00
III. STRUCTURAL/MASONRY WORKS			641,067.75
V. CARPENTRY/FORMWORKS			206,914.50
VI. ROOFING/STEEL WORKS			216,999.00
VII. PAINT WORKS			37,084.50
VIII. PLUMBING WORKS			56,322.00
IX. ELECTRICAL WORKS			87,342.30
X. SEPTIC TANK			15,828.75
TOTAL DIRECT COST =		P	1,277,258.80
INDIRECT COST			
OCM:			190,088.82
PROFIT:			126,725.88
VAT:			79,203.68
TOTAL INDIRECT COST =		P	396,018.38
GRAND TOTAL COST		P	1,673,277.18
Prepared by:			
Engr. Josue D. Amion			
Engineer I			
Recommended Approval by:			
Engr. Emmanuel L. Ables			
OIC - City Engineer			
Approved by:			
Hon. Lourdes S. Cataquiz			
City Mayor			

第36回RYLA研修セミナー開催報告

国際ロータリー第2640地区

2017-2018、青少年・RYLA 委員会 委員長 橋本 竜也
(富田林ロータリークラブ)



1、はじめに

皆様、こんにちは、・・・4月28・29・30の2泊3日にて大阪府立海洋センターにて実施いたしました第36回青少年RYLA研修セミナーには、18のロータリークラブよりセミナー生37名のご推薦をいただき、また、青少年奉仕委員会以外にも、米山記念奨学委員会からも9名の研修生の参加をいただきました

そして今回は、47名のロータリアンの方々にもご参加いただけました。

この中には、元ロータリアンの方や、留学生のホストファミリーの方々にも駆け付けていただき、おかげさまで、2泊3日のプログラムを無事終了することができましたこと、大変嬉しく思います。

第2640地区ロータリアンの皆様のご支援と、岡本ガバナーをはじめ地区役員の皆様のご理解と色々な方々のご協力のおかげにて賑々しく終えることができました、深く感謝申し上げます。

2、実施されたセミナーの内容と研修生

今回のRYLA研修セミナーは、3つのプログラム研修座学・体験・友愛リクリエーションから構成されました。座学として5つの基調講演、体験として3つの実技実習、友愛リクリエーションとして、RYLAナイトを含む2つの内容でした。メインテーマ「防災その時あなたは大丈夫か？」の趣旨のもと、各専門分野の講師の方々においていただき、日常では体験できないようなプログラムを加え実施されました、研修セミナー生においては、これら基調講演や体験を学ぶとともに、防災への知識と意識を高め、体験した内容については、万一の際、行動に移せる勇気へとつながるものと信じております。

また、リクリエーションプログラムは単なる遊びではなく、RYLAナイトによるアイスブレイクから始まり、その後メインテーマである防災に関連した内容の、バズセッションへ、そして班別討論会へと展開しました。班別発表等は、我々が着目しなかったような事、彼らなりの問題提起などもありました。彼らの取り組む笑顔の中に、徐々に目の輝きが増してゆく 国際性豊かな多様性に富んだ若いエネルギーを、出席いただいたロータリアンの皆様も感じ取られたことでしょう。

彼らはもしかすると、ゴールデンウィークという

まとまった休日を、本当は違った所で、違った人と・・・ 家族や仲間と過ごしたかったのに・・・ めんどくさいなあ・・・と思ったり・・・ そんな青少年達もいたかもしれない。しかし、彼らは、最初は講演中に眠っていた研修生もいたかもしれませんが、2日目頃より、徐々に真剣な表情へと変わり、まじめに研修プログラムを受けているその姿からは、彼等はもしかすると将来においてロータリアンになるのでは？などと想像さえもしました。

3、ライフセミナーの意義

しかし、3日間は、あっと言う間に過ぎました。

そして、彼らの輝きが変わった目を見た時、長く今まで続けてきた、ロータリーのRYLAというプログラムのすばらしさと重要性を改めて感じました。

これから、彼等も歳をとり、進学、就職と、それぞれの地域で活躍してゆく中で、今年のRYLAセミナーを思い出してくれることを願っております。

4、今後の課題

今後の課題といたしましては、次年度のプログラムの構築は当然のことながら、昨今の状況などからこうしたセミナーを実施するにあたり、青少年の保護の観点から、危機管理などの対策をもっと充実させる必要があります。さらには、より高度な内容のRYLAセミナーの計画を立てること、そして今回のRYLAナイトにて発足したRYLA学友（RYLAオーガナイザー）を、どう育てて発展させて行くかなど、多くの課題も生まれました。

これについては、青少年奉仕委員会内での横の連携を図るとともに他の委員会などとの協力を呼び掛けてゆきたいと考えております。

5、おわりに

最後になりましたが、企画開催にあたり、数多くの方に、アドバイス、協力をいただきましたことお礼を申し上げます。ありがとうございました。

※ 第36回RYLA研修セミナーにおける、研修生達の姿を動画や写真にて地区のホームページに載せております。彼らの活動、活躍をぜひご覧ください。次頁の写真は、その一部です。



RLI (Rotary Leadership Institute) 2640地区今年度開催の経緯

2640地区 RLI委員長 横山 素夫
(富田林ロータリークラブ)



本日のご意見・ご感想をお聞かせください。

日頃ロータリーの新について議論する機会が無いので貴重でした。

特に財団や基金について知る事が出来て良かったです。

行方においてもRLIをPRしていきたいです。

又RLIの弊に思ふ事が出ました。

地区補助金とクラブ補助金について。

分けて理解する事が出来たと思ひます。

大変勉強になりました。

ありがとうございました。

1. はじめに

4月29日・5月20日・6月3日の3日間、今期における当地区のRLI（ロータリーリーダーシップ研修会）が開催されました。今回は、各回に40～50名の受講生と10数名のDL（ディスカッションリーダー）の参加により、充実した研修が実施できました。

上記の手書き文書は、5月20日に開催されましたRLI：パート2の参加受講生の感想の一例です。受講生といっても座学で講義を聞くのではありません。1日に6つのセッションがあり、それぞれ50分のセッションを司会者の質問に導かれて「自ら話すことによって、気づいてゆく」という手法で理解を深めてゆきます。50分の授業、昔の中学生や高校生の頃の退屈な授業とは全く異なります。何か意見を言うとか、何か質問をするとかという行為は頭脳を活性化して幸せホルモンのドーパミンを分泌すると言われています。

2. 今回の開催状況

4年前に辻ガバナーの年度、RLIが開催されました。それ以前は、2010-2011年度に初回が開催されて、地区混乱期に3度開催されました。当時、研修で苦労されましたディスカッションリーダー（DL）の有資格者は今回のRLIでも大きな力を発揮してくれました。日本RLIファシリテーター委員長の中村靖治先生のご指導の下、1月・2月と2回のDL研修を行い、岡本ガバナー、中野ガバナーエレクトにはDL有資格者の認定をもらって活躍していただきました。さすが弁護士の岡本ガバナーは「DLの要領は、法廷における反対尋問のコツと同

じ」とおっしゃって、見事にセッションを乗り切っておられました。

3. RLIの意義

RLIの使命は、将来にクラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的です。私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動をするためには、ロータリアン一人一人がロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。

4. これからの課題

岡本ガバナーは「混乱期に2640地区のロータリークラブが払った犠牲をとりもどし、リーダーシップを養い、各クラブを活性化するためにRLIを今年度開催する」と、主旨を明確に述べておられます。上記の活性化という目的に一步近づいたRLIを開催できたと感じています。次年度、檜畑ガバナー年度もRLIは継続すると決定されています。RLI開催によって受講できる人数には限りがあり『50人/年度』が限界です。このアセットを次年度・次次年度と継続できたら2640地区の「ロータリー力」は見違えるようにパワーアップできるものと確信しています。



全体会場の様子



セッションの状況

ガバナー補佐、この1年をふり返って

分区	担当ガバナー補佐 氏名	この1年をふり返って
1	三好 清隆 みよし きよたか 新宮ロータリークラブ	 まずは、第1分区の皆様にご協力いただき大変有難うございました。また、那智勝浦RC、新宮RCのご支援により、素晴らしい全体集会が出来たことを、感謝申し上げます。私としては、1年間ガバナー補佐をさせていただき、ロータリーの意義や楽しさを認識し、また素晴らしい方々と接する機会をいただき、自分自身も成長できた一年になりました。さらに、岡本ガバナーを中心に、地区改善のために、地区役員の方々と例年になく、活発な意見交換を行い、一致団結出来たことで、一生の友人をたくさん作る事ができ、私の財産になりました。ガバナー補佐を終えるにあたり、第1分区は地理的にもガバナー補佐を出すには大変ですが、地区の発展のためにもご理解をいただき、今後の分区の活動にご協力をお願いします。
2	大原 裕 おおはら ゆたか 有田南ロータリークラブ	 無知な私はこの歳になって、生まれて初めて知るという事に、いつも喜びと感動を得ています。「一生勉強」は福沢諭吉の名言らしいが、私のは吉田松陰のような高貴なものでもなく、世間話レベル。岡本年度が始まる7ヶ月前から会議を持ち、地区チーム研修セミナー・PETS1-2・地区研修協議会・地区クラブ会長エレクト会議等あり、7月から第2分区9クラブのクラブ協議会やガバナー公式訪問にも同行出席させて頂きました。お世話になった各クラブにはそれぞれ特徴があり、次年度の自クラブ会長として良いところを話し、感謝の気持ちを表したいと存じます。また岡本ガバナーをはじめ同期の補佐の方々にも感謝いたします。地区大会・新会員地区研修会・第2分区研修会・地区立法案検討会などは私にとって画期的で、地区記録誌のガバナー月信は生きた証として大切にします。
3	大山 典男 おおやま のりお 和歌山南ロータリークラブ	 IM3組より岡本ガバナーが誕生し、地区正常化を図りたいとの熱い思いでスタート致しました。この数年来の地区問題の口火を切った者の一人としてお役に立てればとの思いで微力ながらお手伝いをさせていただきました。岡本ガバナーは地区の混乱の要因は地区とクラブの意思疎通がなかったことにあると訴えておりました。重点策の内、分区活動を充実させることに力を注がれました。幸いIM3組は会長・幹事会も定例化され、花一杯運動の協同事業、ゴルフ大会、IMミーティングも当番制にて、中断することなく行われてまいりました。このことが結果的に地区問題に対しての纏りの一因に繋がったのではないのでしょうか？
4	吉田 裕 よしだ ひろし 橋本ロータリークラブ	 辻PG、福井PG年度から始まった2640地区正常化の完成という重要課題を課せられた岡本ガバナー年度に補佐の大役を仰せつかったものの、知識も実行力も乏しい私ははたすらガバナー、地区、第4分区、橋本RCの名を汚さぬことだけを心掛けながら、何らお役に立てない間に過ぎた一年でした。 ただ私個人にとっては、素晴らしい指導者と友人に巡り会えて失いかけていたロータリーに対するモチベーションを取り戻せた意義ある年でした。 伝統を重んじつつ、会員個人、各クラブが運営の基盤となるというロータリーの基本理念と制定されたルールから逸脱することなく、常に冷静な判断力で地区の正常化、活性化のリードをされた岡本ガバナーの下で働けたこと、また共に今期の活動を支えた地区理事、ガバナー補佐、ガバナー事務所の皆様から多くを学び、目標を共有できるよき仲間が増えたことがかけがえのない財産になりました。ありがとうございました。
5	浅岡 善彦 あさおか よしひこ 太子ロータリークラブ	 5分区10クラブの親睦は、ゴルフコンペ、花見例会、移動例会、公開講演会と活発に行われています。2017-18年度(南輪会)担当クラブは、松原中RC様で10年ぶりにIMフォーラムが開催されました。当分区においても、国際ロータリー第2640地区が一九丸となって、「ロータリーの原点を再確認し新たな飛躍を実現する」一年でした。 次年度ホストクラブは太子RCです。盛りだくさんの計画が予定されています。皆様ご協力宜しくお願い致します。 岡本ガバナーの決意(義を見てせざるは勇無きなり)に、勇気と人の道を学びました。一年間ありがとうございました。
6	藤井 秀香 ふじい ひでか 岸和田東ロータリークラブ	 この一年、第6分区担当ガバナー補佐として勉強させて頂きました。第6分区前ガバナー補佐から引き継ぎましたが、当分区には課題も多く「どうなっている？」と心配してお声掛け頂きました。 第6分区には、10クラブ所属しています。ガバナーは、昔のIM単位の活動をするように強く要請されました。分区中の8クラブは、今年度も親睦を深めましたが、残念ながら10クラブでの活動は出来ませんでした。 もう一年、ガバナー補佐を受けさせていただく事になりました。次年には、第6分区の分区活動が、他の分区と同じレベルにまで回復するよう努力を続けたいと思います。
7	竈 和夫 かまど かずお 大阪金剛ロータリークラブ	 ガバナー補佐就任とともに退職し、生活の確保と終活との1年に入り、何をして行くかを悩みつつ、公の他の役職とともにロータリアンとしての生活水準と体面を保ち日々の生活を送る中で、ロータリーの活動が重きをなしてきました。一方、我が大阪金剛RCは、15年を経て若い世代の新会員が増強できずに1年を終ろうとしています。7分区の各クラブを訪問し、クラブ協議会に参加訪問して、充実した活動を見聞きし、自クラブの活動を大いに反省しています。ガバナー補佐としての経験を自クラブに持ち帰り、今後の活動に生かしていきます。ガバナー補佐として1年間お世話になり、ロータリーの精神を学ぶ1年でした。ロータリアン1年生として再出発します。
8	上松瀬 洋 かみまつせ ひろし 堺東ロータリークラブ	 私は、2年続きで、ガバナー補佐の大役を務めさせていただきました。この2年間は、私にとりまして、非常に充実した年であったと思っています。福井、岡本両ガバナーの指導の元、いろいろと学ばせていただきました。只々、感謝しております。 8分区に於きましては、活発な分区活動を目指しました。堺市内の9ロータリークラブが親睦を図る事と、情報交換を目的とした会長幹事連絡会を、ほぼ毎月(7月を除く)開催致しました。恒例の新春合同例会も、岡本ガバナー、竹山堺市長をお迎えして、盛大に開催致しました。そして又、5クラブの合同例会、2クラブ合同例会を開催する等、8分区のロータリアン親睦が、多いに深まったと思っています。 一つだけ、欲を申し上げるとすれば、地区の委員会活動が、全クラブの活動であるという認識の元、各クラブから代表を送り出すという事が足りなかったのかなという気持ちがあります。 次年度には8分区の活動が更に充実したものとなる事を期待しております。

今月の行事予定

- 6月 2日 ローター平和センターセミナー
(東京)
※中野均RI財団委員長にて参加
- 3日 RLI第3回
(和歌山県民文化会館)
- 8日 地区戦略委員会(堺市)
- 9日 第5分区・新旧会長・幹事懇談会
(富田林市)
第7分区・新旧会長・幹事懇談会
(泉大津市)
- 10日 青少年交換委員会・長期受入学生
の終了式
地区ローターアクト年次大会
- 16日 第13回ガバナー補佐・幹事合同会
議(ガバナー事務所)
- 17日 2018-2019年度のための地区会長
エレクト会議(アバローム紀の国)
- 20日~26日 国際大会(トロント)
- 24日 第2640地区のジャパンナイト
(トロント)
地区インターアクト新入生歓迎会
地区青少年交換委員会・派遣学生
オリエンテーション
- 30日 2017-2018年度の同期ガバナー最
終ガバナー会(東京)

5月のガバナー行動日誌

- 5月 5日 ガバナー会交流会(東京)
- 19日 ガバナー補佐・幹事合同会議
(ルミエール華月殿)
地区立法案検討会
(ルミエール華月殿)
第3回地区内クラブ会長会議
(ルミエール華月殿)
- 20日 RLI第2回
(和歌山県民文化会館)
- 26日~27日 第2820地区大会(茨城)
※ガバナーにて参加

ガバナー参加以外の5月開催地区行事

- 5月 9日 地区青少年・ライラ委員会
(ガバナー事務所)
- 12日~13日 第23回日本青少年交換
研究会 千葉会議
※水崎哲男青少年交換委
員会委員長他にて参加
- 20日 青少年交換委員会・長期受入学生
広島研修
- 27日 青少年交換委員会・短期派遣候補
生のためのオリエンテーション
(りんくう国際物流センター)
地区ローターアクト・インターア
クト交流会(大泉緑地)
- 24日~27日 JAPAN RYLA セミナー
(小豆島)
※橋本竜也青少年・ライラ委員会
委員長にて参加

新入会員紹介

氏名	職業分類	生年月日 入会月日
西尾 裕 にしお ひろし 関西国際空港ロータークラブ	国際空港管理	1959年8月5日 2018年4月1日
猪野 雄介 いの ゆうすけ 岸和田東ロータークラブ	証券業	1979年7月12日 2018年4月27日
吉田 智和 よしだ ともかず KUMATORI向日葵ロータークラブ	車両整備業	1978年3月23日 2018年4月1日
田中 得美子 たなか えみこ KUMATORI向日葵ロータークラブ	不動産賃貸業	1971年11月2日 2018年4月1日
福田 超 ふくだ まさる 松原中ロータークラブ	司法書士	1977年5月16日 2018年4月11日
中田 紘武 なかた ひろむ 堺南ロータークラブ	商業 コンサルティング	1988年5月8日 2018年4月2日
井戸 宏和 いど ひろかず 白浜ロータークラブ	量産製造販売	1972年3月6日 2018年4月6日

氏名	職業分類	生年月日 入会月日
福間 輝明 ふくま てるあき 和歌山城南ロータークラブ	証券業	1974年6月12日 2018年4月19日
根岸 亨 ねぎし とおる 和歌山北ロータークラブ	証券業	1971年5月16日 2018年4月2日
中町 英樹 なかまち ひでき 和歌山北ロータークラブ	生命保険業	1962年1月23日 2018年4月23日
大工 博史 おおえ ひろし 和歌山南ロータークラブ	家庭日用品販売	1962年1月16日 2018年4月6日
白石 奨 しらいし すずむ 和歌山南ロータークラブ	ホテル	1971年7月30日 2018年4月6日
橋本 秀則 はしもとひでのり 和歌山西ロータークラブ	役者・劇場経営	1971年9月16日 2018年4月4日

第2640地区 会員数・出席報告(2018年4月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率
	17.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計					17.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計			
有田	26	30	0	6	1	2	3	88.08	87.20	那智勝浦	16	16	0	1	0	1	4	83.93	76.86
有田2000	17	17	0	1	0	1	4	88.24	86.76	大阪金剛	14	14	0	0	0	0	4	91.10	89.70
有田南	27	27	0	1	0	1	4	97.96	92.81	大阪狭山	11	11	0	0	0	0	2	86.50	92.50
ワールド大阪	25	37	0	13	0	1	4	100.00	100.00	りんくう泉佐野	17	18	0	1	0	0	3	94.12	90.48
Rotary E-Club Sunrise of Japan	13	13	0	0	0	0	2	76.92	76.92	堺	58	56	0	3	1	5	4	92.42	94.22
御坊	42	41	0	2	0	3	4	76.73	82.15	堺東	26	28	0	4	2	2	4	98.11	96.19
御坊東	16	16	0	0	0	0	4	76.56	80.16	堺フラワー	3	3	0	0	0	0	2	100.00	100.00
御坊南	28	26	0	1	0	3	3	89.33	85.61	堺泉ヶ丘	20	20	0	0	0	0	4	92.50	94.61
羽曳野	15	15	0	1	0	1	4	93.33	90.89	堺中	21	21	0	0	0	0	4	80.26	77.14
羽衣	15	15	0	0	0	0	4	83.90	82.08	堺北	30	28	0	1	0	3	3	91.67	92.27
橋本	49	49	0	3	0	3	4	91.63	90.54	堺おおいずみ	30	30	0	1	0	1	4	84.30	80.19
岩出	29	29	0	1	0	1	4	88.79	89.39	堺フェニックス	80	68	0	0	0	12	2	100.00	100.00
和泉	27	26	0	0	0	1	4	98.00	94.35	堺清陵	21	22	0	1	0	0	4	95.83	93.43
泉大津	39	40	0	2	0	1	4	85.00	91.22	堺南	11	12	1	1	0	0	4	100.00	97.58
泉佐野	26	24	0	0	1	2	4	97.97	94.56	堺東南	8	8	0	0	0	0	4	90.63	89.96
和泉南	34	37	0	5	0	2	4	64.86	65.44	新宮	51	53	0	3	0	1	4	76.42	75.85
海南	23	19	0	0	0	4	4	71.05	68.13	白浜	10	11	1	1	0	0	4	90.91	94.67
海南東	39	40	0	3	0	2	4	66.88	68.16	太子	16	15	0	1	0	2	3	88.90	79.70
海南西	19	19	0	1	0	1	4	81.57	75.20	高石	27	26	0	1	0	2	4	81.91	77.88
貝塚	17	17	0	0	0	0	4	100.00	98.29	高師浜	12	12	0	0	0	0	3	91.67	90.83
貝塚コスモス	11	12	0	1	0	0	4	95.83	94.36	田辺	85	82	0	1	1	4	4	90.22	87.34
関西国際空港	20	19	1	1	0	2	4	94.74	92.80	田辺東	47	43	0	0	0	4	4	93.75	91.94
河内長野	19	20	0	3	0	2	4	69.40	74.20	田辺はまゆう	37	36	0	2	0	3	4	86.42	84.18
河内長野東	21	21	0	1	0	1	4	84.74	82.52	富田林	33	33	0	1	0	1	4	66.76	67.11
河内長野高野街道	15	15	0	6	0	3	4	96.67	82.06	富田林南	10	10	0	0	0	0	4	70.00	76.67
岸和田	28	31	0	3	0	0	4	81.61	82.04	和歌山	64	64	0	4	0	4	4	77.74	79.21
岸和田東	38	42	1	5	0	1	5	95.49	97.24	和歌山アゼリア	32	33	0	1	0	0	4	84.77	80.63
岸和田南	10	10	0	0	0	0	4	75.70	86.15	和歌山東	42	41	0	1	0	2	4	71.85	82.12
粉河	19	19	0	1	0	1	4	98.61	97.95	和歌山城南	42	44	1	5	1	3	4	72.74	73.77
高野山	17	17	0	0	0	0	4	88.00	84.95	和歌山中	27	25	0	0	0	2	4	89.49	87.11
KUMATORI 向日葵	6	11	2	5	0	0	2	100.00	100.00	和歌山北	37	40	2	4	0	1	4	87.62	79.38
串本	12	12	0	0	0	0	4	81.25	85.96	和歌山南	77	80	2	4	0	1	4	85.10	81.75
松原	17	17	0	0	0	0	5	93.49	92.81	和歌山東南	41	42	0	3	0	2	4	89.79	88.98
松原中	29	29	1	1	0	1	3	72.29	75.62	和歌山西	12	12	1	1	0	1	4	81.82	81.27
美原	6	7	0	2	0	1	4	96.50	96.80										

クラブ	7月1日 会員数				4月末 会員数				月平均出席率	入会		退会	
	男性	1,700	女性	162	男性	1,710	女性	166		4月	累計	4月	累計
69	1,862				1,876				86.96	13	115	7	98

植樹活動報告(追加分)

前号に続き、植樹活動に関する追加報告です。

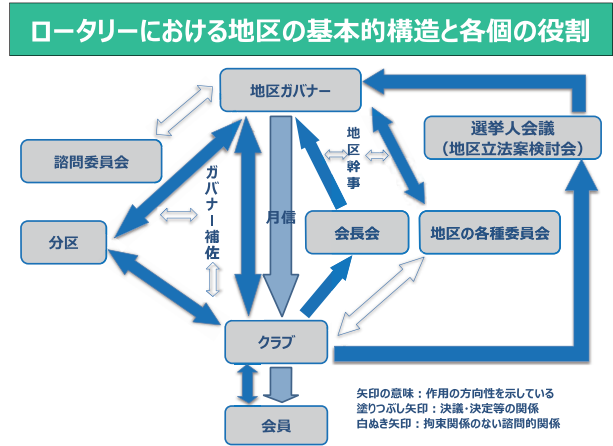
クラブ名	新宮ロータリークラブ
日時	2018年4月23日
場所	新宮港内緑地公園
事業名	新宮港内緑地公園の整備事業
参加者数	10名
植えた木の種類・本数	ウバメガシ21本・ヤマモモ10本



クラブ名	有田2000ロータリークラブ
日時	2018年2月24日
場所	JR藤並駅 東口ロータリー
事業名	植樹例会
参加者数	11名
植えた木の種類・本数	オオシマザクラ・20本



クラブ名	有田ロータリークラブ
日時	2018年5月31日
場所	ウエノ公園 (有田市宮崎町)
事業名	ウエノ公園への植樹
参加者数	会員20名参加
植えた木の種類・本数	桜10本・ユキヤナギ20本



国際ロータリー第2640地区 2017-2018年度ガバナー事務所ご案内

〒640-8131 和歌山市弁財天丁1

電話 073 (436) 7711

FAX 073 (436) 7722

http://rid2640g.com/okamoto/

E-mail: okamoto2640@athena.ocn.ne.jp

付記：今期ガバナー月信の表紙写真には、その時期に沿った花等の写真を掲載させていただきます。栽培者並びに写真の撮影者は、原則としてガバナーによるものとさせていただきます。

今月号は、梅雨に映える花・紫陽花です。